

<理念・基本目標・運営方針>

（1）理念

バウムハウスは、生きづらさを抱えた子どもたちのために存在し、時代を担い成長する施設であり続けます

（2）基本目標

- ・子どもたち一人ひとりのあるがままを大切に「伝えあう」を積み重ねます
- ・あたたかな人間関係の中で自尊感情を回復させ、信頼と安心を育みます
- ・常に、支援の環境とそのあり方の向上を目指します
- ・地域福祉と子どもの最善の利益のために自己研鑽に努めます

（3）運営方針

あたたかな見守りと、やわらかな癒しを支援者の基本姿勢とし、「わたしが、わたしであるために。きみが、きみであるために。」をテーマに、こどもたちのあるがままの存在を受け止め、信頼と安心・自律・自尊心の回復をめざすために、愛情に裏打ちされたバウムハウスの全ての機能を連帯させ協働していきます。

<総 括>

私たちは毎年、社会的養護施設第三者評価事業の評価基準に基づき、自己評価を実施しています。この評価事業は、施設の運営や支援の質を客観的に振り返り、より良い環境を子どもたちに提供することを目的としています。

日々、職員は子どもとの関係づくりをはじめ、生活のケア、心理的支援、家族との橋渡し、関係機関との調整、記録業務など、多岐にわたる役割を担っています。その中で、評価事業に対して前向きな気持ちになれないことがあるのも事実です。『業務負担が増える』『何から手をつければいいのか分からない』—— そうした不安や、職員一人ひとりの問題意識や役割意識の違いが、その気持ちに影響を与えているのかもしれません。

しかし、ふとした瞬間に『こうした方がいいのでは？』『もっと良い方法があるはずだ』と感ずることは、どの職員にもあるはずです。それでも、日々の業務に追われ、その想いを整理する時間を十分に確保できずにいるのが現状ではないでしょうか。

バウムハウスが目指す姿は、子どもも大人も『ここは安心・安全な場所だ』と感じられること。そして、子ども自身が自分の居場所を見つけ、前向きな気持ちで自分の人生に向き合えるようになることです。そのためには、私たち職員一人ひとりが、自らの支援が子どもたちにどのような影響を与えているのかを振り返る機会を持つことが不可欠です。

子どもたちにとって、より安心できる環境とは何か。職員がより働きやすい環境とは何か。その答えを見つけるために、私たちはもっと対話を重ねていかなければなりません。

『子どもの最善の利益』を実現するとは、子ども自身が『この施設で育ってよかった』と心から思えること。そのために、私たちの積み重ねてきた支援には大きな価値があることを信じ、自信をもって日々の仕事に向き合っていきたいのです。

『より良い生活のために、より良い支援のために、一緒に考えていこう。』その想いを胸に、これからも歩んでいきます。

<令和6年度事業報告>

（1）事業目標

①施設の健全運営

・職員の状況

令和6年度は、年間を通して児童指導員3：1、心理療法担当職員加算0名であった。

・入所児童の状況

令和6年度は、令和5年度より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となったことに伴い、これまでのような入所児童の減少が考慮された算定方法が採用された措置はとられないこととなったため、令和6年度の暫定定員は37名となった。

1年間の入所児童数は、前年度比2名減の7名、退所数は前年比1名増の10名であった。令和7年度のスタートは25名となる。

令和 6 年度各月初日児童数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	15	15	15	15	15	14	15	16	16	15	15	15	181
女	13	13	14	14	14	14	14	14	14	15	14	14	167
計	28	28	29	29	29	28	29	30	30	30	29	29	348
入所	1	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	7
退所	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5	10
一保	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5

※退所理由：家庭復帰 6 名、措置変更等（施設変更）3 名、自立 1 名

・情報共有

ファイル共有サーバーの他、児童の個別記録を管理する「情報共有システム」、スケジュール管理の「aipo」、ビジネスチャットツール「chatwork」を場面に応じて活用している。

・情報公開

事業計画書に沿った内容をウェブサイトで引き続き公開を行ってきた。

②子どもの権利擁護

・個人情報の保護

常日頃、情報の漏洩に注意喚起を行っており、必要時以外の施設外への持ち出しは行わないよう徹底した。また、SNS などインターネットを利用した発信への注意喚起を行なった。

・苦情解決相談

今年度も日常の些細なトラブルやクレームであっても苦情と同様にして取り扱い、記録に残すことはもちろん再発の防止に役立てた。また、日常的に児童との会話や面接などを丁寧に行うことにより、日頃から抱えている思いを汲み取り不満の解消に取り組んだ。

令和 6 年度の受付件数は 0 件であった。（令和 5 年度 受付件数 0 件）

・被措置児童虐待の防止

子どもたちが安全かつ安心して生活ができるよう被措置児童虐待の未然防止について職員全体会議等で研修を重ね意識化を図った。

・意見箱の活用

意見箱の開函は、原則子どもたちの登校日は毎日開函することとし、児童のさまざま意見に迅速に対応している。（年間意見数 計 29 件）

No.	開票日	開票区分	内容	対応
1	5/20	女子	普通の Switch を使えるようにして欲しいです。テレビに繋げる線を持っていないから、良いのではありませんかと思います。	使用出来るようルール変更
2	6/4	男子	（職員 X）が自己中過ぎます（X が人をさらってうるさくさせ、他の人が文句を言ったら、うるさい！と言ってきます。）辞めさせた方が良いと思います。うるさくさせたのか、原因は、Z なのに、反論したら、うるさいと言ってきますクビにするべきです。	支援課長より面接を実施。投函した事実があるかないかの確認の上、投函に至ったきっかけ、本児の気持ちについて確認を行う。
3	6/21	女子	お茶飲みたいけど職員がいなくて飲めないことがあって困っています。これからもっと暑くなるし、お茶飲みたいって思うことも多くなってくるので、自分でコップをとってお茶を注いで飲めるようにして欲しいです。	主任会議で対応について検討する。
4	6/21	女子	まきばにカラムーチョを出したらこの世の人間全員呪う！	食事を残してしまったことでカラムーチョを食べることができなかつたであろう児童。本児の食べたかったという気持ちを受容している。
5	7/2	男子	おもちゃの入っているお菓子を出不さないでください	まずは、おもちゃ付きのおやつを楽しみにしている児童もいる可能性があるた

				め、おもちゃ付きのおやつが出た際の子どもの様子について観察することとする。
6	7/9	女子	Switch、部屋から出してもいいようにして下さい。Vita はいいのに、Switch はダメという理由がわかりません。納得できる理由を教えてください。	最近のゲーム所持の状況も変化してきているので、改めて女子棟の会議の中でルールについて見直しをする。
7	8/15	食堂	プッチンプリンが食べたいです。	栄養士に対応検討依頼を行う。
8	9/9	女子	今日のパンまずい！ 味？って言うのかな？ 食べてから出して欲しいんですけど！	栄養士へ報告
9	9/11	男子	インターネットつながかいすうふやせ。 ネットつながかいすうふやして Wi-Fi つながかいすうふやせよ おら 死	投函日と生活状況から投函者は想定済。最近、自分の境遇に対する不満を語れるようになり、色々な職員に訴えている状態。投函内容は、その不満を埋めるために、本児がよく口にする言葉の一つである。本児のおかれた状況に対して受容的に関わることを続けていく。
10	9/12	男子	ネットつながかいすうふやして おらー	
11	9/13	男子	ネットつながかいすうふやしてください	
12	9/18	女子	DVD をつくれるようにしてほしい	市販 DVD のコピーは違法。投函者がわかり意図を汲めれば検討余地あり
13	9/20	男子	①バウムとくゆうの中（高）学生のバイト（おてつだい）を作しましょう！！ ②しずかにすごせる人だけ（夕方）外にでてゆったりする時間をつくってもいいと思います！！	投函者不明 他の子どもの意見などもくみ取りながら検討
14	10/29	女子	（職員 Y）やだ 意味不明 キライ	体の不調を訴えたが、自分がしてほしい対応をしてもらえなかったことへの不満。怒りの感情をコントロールすることが苦手な児童であり、そのことを理解した上で対応に当たる必要がある。
15	11/27	男子	お正月くらい Wi-Fi つながせてほしいです	中 2 男子●さんが子どもたちに意見を書くように促し入れさせたという背景がある。彼らの気持ちを尊重しつつ、バウムハウス全体の状況や金銭感覚を教える機会として活用を検討。
16	12/5	男子	ブッカあがってっんだからよ おこづかいふやして！	
17	12/5	男子	物価があがっているからおこづかいふやしてください	
18	12/5	男子	おこずかいふやせ。	
19	12/5	男子	ねあげしているからおこづかいふやしてください	
20	12/5	男子	ぶっかが上がってるので おこずかいをふやしてください	
21	12/5	男子	物のねだんがあがっているので おこづかいをふやしてください。	
22	12/5	男子	ねあげがあるのでおこずかいをふやして	
23	12/5	男子	物価があがっているので おこずかいをふやせ	
24	12/20	女子	一度きりでいいので牧場に「ねるねるねるね」をだしてほしいです	栄養士に報告

25	12/23	女子	男子とルールを少しとういつしてほしい。 (例 女子のゲーム5時回収なしにするとか。)	子どもたちにわかりやすく説明をすることで、男女が公平に扱われていないと感じないように配慮していく
26	1/16	女子	平日の5時ゲーム回収なんでするんですか？6時で良くないですか？	日課の意図について子どもたちへ説明する機会を設ける。
27	1/16	女子	なんで平日5時回収なんですか。なくていい制度だと思うのですが... ということで回収しないということにしてほしいです。	
28	1/30	男子	(漢字変換後) 1/28 嫌なことがあった。 今日のお風呂の時、勝手に開けられました。 その人は、友達です。僕はそのとき何も着てなかったです。友達は、いつも「キモイ！」って言われる人です。中学生の〇〇くんです。(〇〇です。)一番嫌でした。	主任と面接を実施し、その時の状況の確認、気持ちの受け止め、対応について一緒に考える機会を設定する。
29	3/11	女子	バウムにワイファイをおいてください。	外部でWi-Fi接続をしていることの目的についても説明し理解を求める。

2024年度累計29件(2023年度 累計52件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	1	3	2	1	4	3	3	10	3	0	1	29

③専門性の充実・強化

※(5)職員研修実績を参照

④リービングケア、アフターケアの充実・強化

- ・年2回の児童自立支援計画票の作成を通じて、児童の状態を施設全体で確認し必要な支援を検討し、次のステップを見据えた治療及び支援の展開を図っている。
- ・退所時に、退所後の不安を少しでも軽減できるよう、施設としてアフターフォローをする姿勢を示し、子どもやその保護者等からの相談を積極的に応じることが出来た。また、必要に応じ適切な機関に繋げる取り組みを行なった。
- ・新規入所児童の家庭に対し、担当するスタッフの氏名や交流のステップの当面の予定を郵送し、保護者に理解を得られるよう配慮してきた。担当職員と協議しながら、児童相談所の協力を得て、地域の関係機関、家庭訪問、学校訪問などを実施し、児童と家族が抱える家庭復帰の不安の軽減を図ってきた。また、退所した児童の通う学校との連携を継続し、児童と直接会って励まし、課題の整理を行う機会を設定した。また、家族、関係機関と児童の支援についても協議を行ってきた。

児相面会、ケース協議等(リモート含む) 延べ92回

⑤家族に対する支援の強化

- ・平成30年度より継続して、家庭支援専門相談員を2名配置し、家族支援の強化を図っている。
- ・バウムハウスの面会・交流、帰省のステップを基本とし、家庭支援、家族交流を積極的に行なうため、家庭状況に応じ、家族療法棟を活用した。交流方法について、児童相談所と連携を図り、検討の上実施することができ、家庭復帰に向け、週末帰省を実施しながら家庭調整を図ったケースを含め、順調にステップを重ねることができた。
- ・児童の発達特性や必要な支援について、医師との保護者面接も実施している。
- ・家庭支援専門相談員を主とした職員と保護者との面接回数は、27家族で延べ149回。家族療法棟を活用した回数が延べ7回だった。新型コロナの影響はなくなったが、入所児童数が少なかったことや、家族療法棟を利用した家族の交流の機会が少なくなったこともあり回数は少なかった。

⑥施設機能の地域社会への貢献の取組み

- ・新型コロナの影響により途絶えていた取り組みであったが、今年度も地域貢献事業としてこれまで行ってきた講演会などは開催できなかった。

⑦関係機関連携による治療的ケア及び支援の取り組み

- ・星の丘小中学校との連携・協働
星の丘小中学校とは、朝のミーティングとその日の子どもの様子を学校と施設の双方で紙面による情報共有が日常的に行なわれ、定例のカンファレンスだけではなく、必要都度ミニカンファレンスが開かれ、連携した支援の取り組みを常に行なっている。
- ・児童相談所との連携・協働
入所前から入所後、退所後まで児童とその保護者及び、その取り巻く環境等の各種情報について児童相談所と共有し治療支援に連携して取り組んでいる。
- ・Zoomを活用したリモート協議や面会が年間を通してかなりの頻度であり、定着した感がある。今後もより一層の活用を行ない連携に活かしていきたい。
- ・令和6年度特別支援教育総合推進事業「特別支援教育の体制整備の推進」への委員派遣

第1回専門家チーム会議	令和6年7月12日（心理主任）
第2回専門家チーム会議（いぶりWEB研修会）	令和6年10月7日（心理主任）
第3回専門家チーム会議	令和7年2月27日（心理主任）
- ・胆振地区特別支援教育ネットワーク（いぶりネット）への参加

令和6年度 第1回会議	令和6年5月20日	オンライン参加 （支援課長、心理主任）
第2回会議	令和6年2月17日	オンライン参加 （支援課長、心理主任）

※西胆振地区の特別支援教育の理解啓発や充実を図ることを目的に、平成18年に伊達高等養護学校、室蘭養護学校、室蘭養護学校の3校で組織した特別支援教育ネットワークが「西胆振地区特別支援教育ネットワーク」。対象となる市町は、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町の6市町。開設当時は特殊教育から特別支援教育への移行の時期ということもあり、各特別支援学校が地域におけるセンター的な役割を果たすためにはどのようにすればよいのかを模索していた時期で、3校の管理職及び特別支援教育コーディネーターが中心となり、特別支援教育全般に関わる情報交換や研修を行うことなどを中心に活動した。現在では、上記の目的と併せて、3校それぞれの専門性を生かした役割や特別支援教育コーディネーターの在り方などについて検討している。

⑧子どもたちが安全で安心して生活するための取り組み

- ・性教育委員会の取り組み
“発達面に課題の抱える子どもに対する性教育”というのを念頭に置き、“性に特化したものではなく誤った（未成熟な）対人関係が性問題へと発展する”と捉え、入所児童の基本課題であるところの望ましい対人関係の獲得と、性指導のあり方について検討を行ってきた。
また、性知識のダイレクトな教育は極力避け、「人つきあいの学習」として、児童とともに「人とのつきあい方」を考える機会とすることで、行き過ぎたつきあい方に対する予防することをねらっていきたいと考えてきた。
子どもが性に関する疑問をふと思い質問をしたときに、大人として正しく答えてあげることが一番の性教育と考える。そのような体制を作っていくことを次年度の柱のひとつにしたい。

<主な取り組み>

- ・人つきあいの学習（新規入所児童を対象に8回）
- ・個別の補足的学習（女子4名、男子1名）
- ・権利と尊重、暴力と安全確保の学習 14回
- ・退所児童を対象とした学習 5回
- ・委員会会議（6回）
- ・事故等の報告
今年度発生した、施設内および学校での児童の怪我や事故（逸脱行動等）等は以下のとおりである。
一部を除いて胆振総合振興局、北海道室蘭児童相談所、措置児童相談所に事故報告書を提出し、必要に応じ事故後の対応についても適宜報告した。

⑨職員が意欲的に子どもたちと向き合うための職場環境の確保

・ストレス調査

厚生労働省のストレスチェック実施プログラムを利用し、年1回（5月）全職員のメンタルヘルス調査を実施し、必要に応じて適切な対応を行っている。

・労務管理状況

会議や児童の活動などで時間外労働の発生は最低限やむを得ないところがあるが、時間外労働の削減を意識し勤務調整等を行ないながら事業を推進している。また、時間外勤務等の大部分については、時間休や代休で処理をするように努め、実労働時間を減らしている。

女性児童指導員・保育士が不足していた昨年度に比べ、充足した今年度の時間外労働は昨年度に比べ微増、休日出勤は大幅減となっている。

年次有給休暇については、勤務表作成時に、希望休をとれるようにしているため取得率が低くなる傾向がある。また働き方改革による年次有給休暇の指定義務化を踏まえ、今年度も有給休暇の取得を推進してきたところであったが、有休5日取得の達成は100%と一步届かなかった。

時間外労働時間（対象：全職員（施設長、医師除く） 平均 29.00 名）

年間	時間外	休日出勤	深夜業
合計時間	1078 (1074.00)	504.50 (683.50)	27.50 (20.00)
一人平均	38.50 (38.36)	17.40 (23.84)	0.95 (0.70)
一人一月平均	3.21 (3.20)	1.45 (1.99)	0.08 (0.06)

年次有給休暇取得状況（対象：全職員（医師・施設管理員を除く） 月平均 31.2 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数計	24.5	20.0	19	10	32	36	29	23	11	13.5	9	57.5	284.5
時間計	5	4	10	5	2	5	13	4	3	10	7	9	64

取得率 = (今年度取得日数 284.5 日) / (付与日数 547 日) × 100 = 52.01%
有休5日取得達成者 30 名 / 31 名 達成率 96.77% (前年度達成率 100.00%)

※過去の年次有給休暇取得率

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
割合	34.17%	24.32%	37.34%	43.72%	34.95%	42.91%	51.64%	53.98%

⑩地域との交流、地域貢献の取り組み

新型コロナウイルス感染症が感染拡大する前は、例年、福祉関係者のみならず教育関係者等の施設見学を多数受け入れることにより、また、講師派遣により児童心理治療施設への理解を拡げる取り組みを行ってきたが、2023 年度についても、新型コロナの影響がすくなく残っているようであった。

・施設見学・来所者

新型コロナウイルス感染症対策により、施設見学や施設入場を制限していた。

・講師等派遣

講師派遣			
8 月	26 日	星の丘小中学校	心理士
		トラウマを抱えた子どもへの関わりについて	
11 月	20 日	北海道福祉教育専門学校	施設長
委員派遣			
7 月	12 日	特別支援教育総合推進事業「特別支援教育の体制整備の推進」 第1回専門家チーム会議	主任心理士
10 月	7 日	第2回専門家チーム会議（いぶり WEB 研修）	主任心理士
2 月	27 日	第3回専門家チーム会議	主任心理士

・実習受入状況

今年度は例年に比べ3件と少ない受入であった。実習制度の変更等が影響しているものと思わ

れる。

保育士		
10月	3日	北翔大学短期大学部（～10/13）
心理		
7月	29日	北星学園大学大学院（～8/7）
社会福祉士		
8月	13日	北星学園大学（～9/13）

・Support School Education 事業

趣旨 児童心理治療施設という種別の特性を活かした、心理治療に関するノウハウを活用した地域貢献事業を、学校教育と連携する中で展開する。

内容 ・教育支援のより良い展開のために、発達障害を有する児童生徒の特性を理解する
・心理検査データの具体に基づき、児童生徒の特性を理解し、支援の個別化の方法について検討する。
・学校でのカンファレンスの同席
・その他

実績 ・7/9 伊達市立西小学校（2 ケース） 支援課長・心理士

⑪社会的養護関係施設第三者評価の受審結果を踏まえた取り組み

今年度は自己評価のみの年であった。昨年度の評価と自己評価の結果を基に業務改善計画を立て、治療支援の質の向上に向けた取り組みと適正な施設運営を目指している。また、2025 年度が3年に1度の受審の年であり、受審に向けた取り組みを引き続き行った。

（2）支援事業内容

①主な行事等

4月	1日	田中康雄先生診察日
	4日	札幌市児相来所一時保護児童移送（中2男子）
	5日	旭川児相来所（児童面接）
	8日	星の丘小中学校始業式
	9日	星の丘中学校入学式、留寿都高校入学式
	16日	全体会議、グループ会議、室蘭児相来所、新規入所児童リモート面会
	18日	法人運営会議、BASE 会議、苫小牧分室来所（児童面接）
	19日	濾過器定期点検
	23日	グループ会議
	19日	濾過器定期点検
	23日	グループ会議
	24日	誕生日会
	26日	給食委員会
	30日	新規入所予定児童施設見学（旭川児相）、男子一時帰省移送（旭川）
5月	1日	男子児童一時帰省移送（輪厚 PA）、中央児相来所児童面会
	2日	男子児童一時帰省移送（旭川）
	4日	男子 GW 行事（室蘭、映画鑑賞）
	6日	女子 GW 行事（室蘭、映画鑑賞）
	7日	男子児童一時帰省児童移送迎え（旭川）
	9日	北見児相来所児童面会（女子）
	13日	田中康雄先生診察日
	14日	グループ会議、苫小牧分室来所児童面会（女子）
	16日	男子父子面会（札幌、松村・石垣）
	17日	室蘭児相来所（男子）、旭川児相来所児童面会（女子）
	18日	男子5月買物活動
	20日	第1回いぶりネット（リモート）
	21日	全体会議&グループ会議
	22日	新規入所予定児童施設見学、SW 実習調整会議（リモート）、誕生会
	23日	法人運営会議、内部監査
	24日	小山先生 SV（リモート）、BASE 会議、

		小6女子リモート面会（釧路児相）
	26日	高3女子現場実習移送（帯広）
	27日	田中康雄先生診察日
	28日	全体会議&グループ会議
	29日	指導者研修（～30日、オンライン）、給食委員会
	31日	中央児相来所児童面接（男子）、札幌市児相来所（小6女子、中2男子）
6月	1日	星の丘小中学校運動会
	3日	星の丘小中学校振替休校、田中康雄先生診察日 虐待対応研修＜入門編＞（札幌）
	4日	虐待対応研修＜支援実践編＞（～5日、札幌）
	6日	高3女子現場実習中間訪問（帯広）、理事会
	10日	田中康雄先生診察日
	11日	ハラスメント研修、グループ会議、中3女子リモートカンファ
	13日	苫小牧分室来所（小5女子、男子）、星の丘小中学校学校運営協議会
	14日	高3女子現場実習終了迎え（帯広） 北見児相来所（中2女子面接）、
	15日	6月女子グループ活動①（室蘭水族館）
	16日	6月女子グループ活動②（有珠恋人海岸他）
	17日	田中康雄先生診察日
	18日	全体会議、グループ会議
	19日	星の丘中学校3年生修学旅行（～21日）、名寄市立大学学生施設見学
	20日	法人運営会議
	21日	全児心広報委員会（Zoom）、函館児相来所（小2男子面接）
	22日	男子長距離サイクリング（児童7名、職員3名）
	23日	男子中距離サイクリング（児童4名、職員2名）
	24日	田中康雄先生診察日、岩見沢児相施設連絡協議会
	25日	グループ会議、小5男子ケース協議（リモート）、評議員会
	26日	旭川児相来所、星の丘小中学校学校運営協議会、中2女子リモート面会
	27日	中央児相来所（小4女子）、給食委員会
	28日	札幌児相来所（小6女子、中2男子）
7月	1日	田中康雄先生診察日、小6男子リモート協議、北見児相来所（中2女子）
	2日	中3女子一時保護移送（旭川）、旭川児相来所（中3男子）、グループ会議
	4日	星の丘小学校6年生修学旅行（～5日）
	5日	中3男子特別帰省送り（旭川）
	9日	グループ会議
	10日	中2女子リモート面会
	11日	小5女子親子面会（苫小牧）
	12日	中2男子一時保護移送（札幌、鈴木直） 旭川児相来所（中3女子帰所、中2女子面会）
	16日	グループ会議
	18日	帯広児相来所（小5女子）
	19日	道養協中堅職員研修（～20日、北広島市）
	20日	BASE 会議
	21日	道養協総会（～22日）
	22日	田中康雄先生診察日
	23日	全体会議、グループ会議
	24日	小山先生 SV
	25日	星の丘小中学校1学期終業式、札幌市児相来所（小6女子経過診） 男子夏の活動（～26日）
	26日	星の丘小中学校夏休み（～26日）
	29日	田中康雄先生診察日
	30日	伊達市要対協代表者会議（施設長）
	31日	小6男子、中2女子帰省送り（旭川）
8月	1日	小2男子一時保護送り（函館）、中3男子進路協議（リモート）

	2 日	小 6 男子三者協議（札幌） 小 6 女子リモート面会（釧路児相）
	3 日	夏休み一時帰省（～17 日）
	5 日	田中康雄先生診察日 小 6 女子一時保護児童送り（札幌）、中 1 男子一時帰省児童送り（旭川） 小 5 男子、小 6 女子、中 2 女子一時保護・帰省送り（占冠） 新規入所予定児童保護者施設見学
	7 日	女子夏の活動①苫小牧（映画、買物）、小 5 男子一時帰省送り（苫小牧）
	8 日	苫小牧分室来所
	9 日	中央児相来所（小 6 女子）、男子夏の活動③
	11 日	旭川児相来所（中 3 男子面談）
	13 日	中 2 女子一時保護送り（旭川）、小 5 女子、高 3 女子一時保護・帰省送り（帯広）
	16 日	北見児相来所（小 6 男子一時帰省終了送り） 中 2 男子一時保護移送（札幌） 高 3 女子・中 2 女子一時保護・帰省終了迎え（占冠）
	19 日	田中康雄先生診察日、小 5 男子一時帰省迎え（占冠）
	20 日	法人運営会議、保育実習受入担当者研修（札幌）
	21 日	女子夏の活動②
	22 日	女子夏の活動③
	26 日	田中康雄先生診察日、講師派遣（星の丘小中学校） 小 6 女子一時保護送り（岩見沢）
	27 日	星の丘小中学校 2 学期始業式 留寿都高校、伊達高等養護学校、室蘭養護学校 2 学期始業式
	28 日	BASE 会議
9 月	2 日	田中康雄先生診察日、中 3 女子一時保護送り（輪厚 PA）
	3 日	グループ会議、女子習字クラブ
	7 日	中 3 男子学校見学（函館）
	9 日	田中康雄先生診察日
	10 日	グループ会議、男子習字クラブ、濾過器年次点検・修繕
	11 日	児童養護施設指導者研修ファシリテーター（～12 日、横浜） 全国児童心理治療施設協議会職員研修会（前泊入り、広島）
	12 日	小 6 男子一時保護送り（旭川）
	13 日	中央児相施設連絡協議会
	14 日	中 3 男子学校見学（北斗市）
	17 日	グループ会議
	18 日	釧路児相来所（中 2 女子面接）、小 6 男子協議（斜里町） 中 2 男子ライフストーリーワーク（札幌）
	19 日	中 2 女子ケース移管協議（函館児相来所）、法人運営会議
	20 日	給食委員会
	24 日	全体会議、グループ会議、小 6 女子リモート協議 小 4 女子一時保護送り（札幌）、苫小牧分室来所（中 1 女子母来所、面接）
	25 日	小 5 男子一時帰省迎え（旭川）、児童心理治療施設指導者研修（～26 日、横浜）
	26 日	内部監査、中央児相来所 福祉専門職のための中堅職員キャリアアップ研修（オンライン、～27 日）
	27 日	消防設備点検、小山教授 SV、中 2 男子施設見学（札幌）
10 月	1 日	グループ会議
	3 日	一時保護児童（小 4 女子）迎え（札幌）、中 3 女子リモート協議
	4 日	入所予定児童施設見学（苫小牧、中 1 男子） 児童心理治療施設新任職員研修（～5 日、横浜） ラクティス車検（～10/5）
	5 日	星の丘フェスティバル、女子グループ活動（相馬神社） フェスティバル終了後フォロー活動
	6 日	女子グループ活動（相馬神社）

	7 日	星の丘小中学校振替休校、田中康雄先生診察日、 小学生男子登山活動（ニセコ、2 名）
	8 日	グループ会議、ブロック研修オンラインミーティング
	9 日	帯広児相施設連絡協議会、札幌市児相来所協議（中 2 男子、小 6 女子）
	10 日	室蘭児相施設連絡協議会、一時保護児童（小 6 男子）迎え（札幌）、 一時帰省児童（中 3 男子）送り（旭川）
	11 日	入所予定児童施設見学（苫小牧、小 1 女子）、北見児相来所
	14 日	女子秋の登山活動（女子 1 名）
	15 日	グループ会議
	16 日	釧路児相施設連絡協議会、斜里町要対協（Zoom）、中 3 男子学校見学（釧路）
	17 日	札幌市母子生活支援施設合同研修施設見学
	18 日	電気設備点検
	21 日	田中康雄先生診察日、北海道東北ブロック研修会（～22 日）
	22 日	中央児相来所（小 4 女子面接）
	24 日	消防査察、BASE 会議、中央児相来所（小 4 女子） 福祉専門職チームリーダーキャリアアップ研修（～25 日、オンライン、中 島）
	25 日	誕生会
	28 日	田中康雄先生診察日、旭川児相施設連絡協議会
	29 日	全体会議、グループ会議、小 6 男子一時帰省迎え（旭川）
	30 日	ボイラー整備、給食委員会
	31 日	基幹的職員研修（札幌）
11 月	1 日	中 3 男子帰省送り（旭川）
	5 日	公用車タイヤ交換、グループ会議、中 3 男子協議（旭川） 中 3 女子リモート協議（Zoom）
	6 日	道養協現任職員研修会（～7 日、札幌）
	7 日	全児心研修会心理部会（～8 日、川崎）
	12 日	グループ会議
	14 日	内部監査
	15 日	給料日、中央児相来所（小 6 男子）、札幌市児相来所（児童 3 名経過診）
	17 日	女子秋の活動（室蘭）
	18 日	田中康雄先生診察日
	19 日	北見児相来所、全体会議（自立支援）、グループ会議
	21 日	法人運営会議、監事監査、寄付米受領
	22 日	第 2 回全児心広報委員会、BASE 会議
	23 日	社会福祉実習指導者講習会（Zoom）
	24 日	男子秋の活動（室蘭・苫小牧）
	25 日	田中康雄先生診察日
	26 日	全体会議（自立支援）、グループ会議、職員インフルエンザ予防接種（～28 日）、誕生日会、中央児相遠藤係長来所打ち合わせ
	27 日	小山教授 SV、小 6 女子面会（札幌市児相）、苫小牧分室来所小 5 女子面接
12 月	2 日	田中康雄先生診察日、アドボケイト事業説明来所（公認心理師協会河合会 長）
	3 日	全体会議、グループ会議、小 6 女子施設見学（北広島）
	4 日	中 2 女子児相面接（岩見沢）
	5 日	中 2 男子学校見学（新篠津村）、小 5 女子リモート面会
	7 日	公認心理師実習指導者研修（～8 日、オンライン）
	9 日	田中康雄先生診察日、入所予定児童施設見学（帯広）
	10 日	グループ会議
	11 日	苫小牧分室来所児童 3 名面接
	13 日	胆振総合振興局指導監査
	16 日	田中康雄先生診察日、中 1 男子オンライン会議
	17 日	グループ会議、滝井先生ワークショップ（～18 日、バウム、5 名参加）、 宮崎ひむかひこばえ学園職員 3 名施設見学
	18 日	釧路児相来所（小 6 女子面会）

19 日	法人運営会議、BASE 会議、粗大ゴミ収集
20 日	室蘭養護学校終業式、留寿都高校終業式、給食委員会
23 日	田中康雄先生診察日、クリスマス会
24 日	星の丘小中学校 2 学期終業式
25 日	星の丘小中学校冬休み（～1/14）、中札内高等養護学校寄宿舎職員施設見学
26 日	帰省児童（男子 2 名）移送等（旭川）、札幌市児相来所（小 6 女子面接）
27 日	帰省児童（女子 2 名）移送（帯広）
28 日	冬休み一時帰省（～1/11）、事務室閉鎖（～1/5）

1 月	2 日	男子活動（室蘭、初売り買物）
	3 日	女子活動（市内、初売り買物）、夕食活動（男子外食、女子テイクアウト）
	6 日	田中康雄先生診察日
	7 日	帯広児相来所（帰省児童送迎）
	8 日	小 2 男子一時保護送り（函館）、中 2 女子一時保護送り（占冠） 中 1 女子、中 2 女子一時帰省迎え（旭川・岩見沢）
	9 日	中 2 女子一時保護送り（旭川）
	10 日	一時帰省児童 4 名迎え（帯広）
	14 日	小 6 男子一時保護送り（札幌）、濾過器定期点検 中堅職員研修（Zoom）、苫小牧分室来所（児童 3 名面接） 中 2 男子協議（Zoom、札幌市児相）、中 2 女子協議（Zoom、札幌市児相）
	15 日	星の丘小中学校、室蘭養護、伊達高等養護、留寿都高校 3 学期始業式 旭川児相来所（中 3 女子打ち合わせ）、中堅職員チームリーダー研修（Zoom）
	16 日	中 2 男子ライフストーリーワーク（札幌）
	17 日	小 5 女子母子面会（苫小牧）
	19 日	児相施設相互受入研修①（～21 日、男性 3 名）
	20 日	田中康雄先生診察日、中 2 男子一時保護送り（札幌市）、 中 2 男子高等養護学校見学（雨竜）
	21 日	全体会議、グループ会議
	22 日	基幹的職員研修（オンライン）、小 6 男子リモート協議
	23 日	釧路家裁調査官来所、法人運営会議 北海道医療大学野田先生来所、中 2 男子面接（札幌市） 中央児相来所（一時保護児童送り）
	24 日	小山教授 SV、BASE 会議、給食委員会、小 6 女子児相面接（札幌）
	26 日	児相施設相互受入研修②（～28 日、女性 2 名）
	27 日	田中康雄先生診察日、札幌市児相来所（一保児童送り）
	28 日	全体会議、グループ会議
	29 日	古紙回収、お誕生会
	30 日	中 2 女子リモート協議

2 月	3 日	田中康雄先生診察日、小 5 男子 M.R 要対協（Zoom）
	4 日	支援課グループワーク、グループ会議、 苫小牧分室来所（小 5 女子協議、面接） 道養協処遇改善加算研修（～5 日、Zoom）
	6 日	高 3 女子協議（帯広）
	7 日	札幌市児相来所（中 2 女子面接）
	10 日	田中康雄先生診察日
	12 日	小 6 男子中学校入学説明会（南幌）、児相施設相互受入研修（～14 日、札幌）
	13 日	法人運営会議
	15 日	男子冬の活動（スキー）
	17 日	田中康雄先生診察日 胆振地区特別支援教育ネットワーク会議（オンライン）
	18 日	児相施設相互受入研修（～19 日、旭川）、全体会議、グループ会議
	19 日	名寄市立大学学生施設見学
	22 日	男子冬の活動（スケート）
	23 日	女子冬の活動（スケート）
	24 日	男子冬の活動（スキー）
	25 日	全体会議、グループ会議

26日	給食委員会
27日	小6男子要対協（南幌）、BASE 会議、第2回専門家チーム会議（Zoom、村形）
28日	「社会的養護における育ち育てを考える研究会」（さいたま市）
3月 3日	田中康雄先生診察日
4日	グループ会議
5日	浄化槽法定検査、AM 全館停電
6日	旭川児相来所（中2男子面接）
7日	アドボケイト来所
11日	グループ会議、退所児童面接（苫小牧）、 北見児相来所（中2女子面接）中3女子関係者協議（Zoom）
12日	一時保護児童送り（占冠）、中2女子三者協議（Zoom） 小6女子リモート面接（釧路）
14日	消防設備点検、高3女子退所移送、一保児童迎え（帯広）
17日	田中康雄先生診察日、BASE 会議
18日	全体会議、評議員会、グループ会議、 小5女子保護者面接（苫小牧）、中2女子オンライン面接（岩見沢）
15日	星の丘小中学校卒業式
21日	留寿都高校修了式、法人運営会議、内部監査 中2女子措置変更予定先施設見学（蘭越）、中3女子リモート協議
24日	星の丘小中学校修了式、田中康雄先生診察日
25日	春休み一時帰省開始、中2女子一時保護移送（札幌）
26日	小山教授SV、中2男子一時帰省児童送り（岩見沢）
27日	中央児相来所（中2男子面接）
28日	小6女子帰省終了迎え（占冠）
31日	田中康雄先生診察日、中2女子帰省終了迎え（旭川）

②クラブ活動について

令和6年度に活動したクラブは、書道クラブと農業クラブで、主な活動は以下のとおりである

書道クラブ
※不定期実施※ 計4回実施（8/20, 8/27, 9/3, 9/10） 第92回全国書画展覧会（広島県熊野町主催）に男子2名、女子6名が出品し、金賞1名、銀賞3名、銅賞4名の結果だった。
農業クラブ
今年度も男子と女子の2グループでそれぞれ、種苗を購入し、畑を耕して、きゅうりやなす、ピーマンなどの野菜を育てた。収穫した野菜は、職員や学校教員も購入し、その売り上げの一部を使用して収穫祭を開催したり、市民農園を借りて野菜を育てたりした。

③新型コロナ・インフルエンザ等感染症対応

入所児童の感染はなかったが、職員は7名のコロナ感染、4名のインフルエンザA型感染があった。

（3）支援体制

- 支援課の具体的な取り組みについては、①グループ支援（男子グループ、女子グループ）、②年間行事、③心理治療、④日課と業務、⑤家族支援、⑥性教育委員会、⑦医療連携室の7カテゴリーに分類し、それぞれに計画を立案し、異職種協働を基本としてチームのなかで支援が展開された。それぞれのカテゴリーについては、各論として事業計画を立て、一年間を別に総括している。
- 子ども達の生活の安全を図るための取り組みについて、確認方法等の具体的な検討を続けた。

（4）施設組織体制

①職員配置状況（令和7年3月31日現在）

	定数	現員数	備考
施設長	1	1	
医師	1	2(2)	
看護師	1	1	
事務員	1	2	

家庭支援専門相談員	1	2	1名加算
個別対応職員	1	1	
児童指導員	1 3 (3:1) 1 2-1 1 (3.5:1)	1 1	
保育士	1 0 (4:1) 9 (4.5:1)	2	
心理療法担当職員	4 (10:1)	4	加算なし
栄養士	1	1	
調理員等	4	6(1)	
清掃員		2(2)	
施設管理員		2(2)	
計	2 9	3 7(2)	

②各種会議の実施

会議名	頻度	構成
課長会議	週1回	施設長、支援課長、医療連携室長、総務課長
主任会議	週1回	支援課長、各グループ主任
各グループ会議	(休校日を除く)	各グループ職員
全体会議	月1～3回	原則、全職員
性教育委員会	月1～3回	児童指導員、心理士、看護師
給食委員会	月1回	施設長、総務課長、支援課長、管理栄養士、調理員、支援課勤務者
感染症対策委員会	必要都度	施設長、支援課長、医療連携室長、総務課長
BASE 会議	月1回	星の丘小中学校 校長、教頭 バウムハウス 施設長、支援課長、総務課長
実務者会議	月1回	星の丘小中学校 バウムハウス グループ主任
入所前カンファレンス	都度	伊達市教育委員会、星の丘小中学校、バウムハウス
登校後カンファレンス	都度	伊達市教育委員会、星の丘小中学校、バウムハウス

(5) 職員研修実績

新型コロナ以降オンラインもしくはハイブリッド形式の研修が多くなったこともあり、これまで以上に積極的な研修の参加となった。また、児童相談所主催の研修に参加したり、交換研修を実施したりとこれまでにない機会を得ることも出来た。児童相談所の業務を知ることはもちろんのこと、児相職員にも福祉施設の実態を知ってもらう機会にもなった。

研修名	時期	場所
全児心関連、子どもの虹関連		
第1回施設長会	5/16～17	横浜
第2回施設長会	2/20～21	愛知
職員研修会	9/12～13	広島
指導者研修(合同研修)	5/29～30	Zoom
指導者研修	9/25～26	横浜市
新任職員研修	10/3～4	横浜市
心理部会	11/7～8	横浜市
北海道東北ブロック研修会	10/21～22	室蘭市
中堅職員チームリーダー研修	1/14	オンライン
中堅職員研修会	1/15	オンライン
「心の中の自分史を再構成するために」	3/13	オンライン
全社協、道社協関連		
保育実習受入担当者研修	8/20	札幌市
児童福祉施設職員研修	10/10～11/29	オンデマンド
福祉専門職のためのキャリアアップ研修(初任者コース)	7/30～31	オンライン

福祉専門職のためのキャリアアップ研修（チームリーダーコース）	①8/6, 7	オンライン
	②10/24, 25	オンライン
福祉専門職のためのキャリアアップ研修（管理職員編）	12/5～6	オンライン
福祉専門職のためのキャリアアップ研修（中堅職員コース）	9/26～27	オンライン
社会福祉実習指導者講習会	11/23	オンライン
道養協関連		
北海道児童養護施設協議会職員研修会	7/19～20	北広島市
現任研修	11/6～7	札幌市
処遇改善加算研修	2/4～5	オンライン
北海道		
基幹的職員研修	前期 10/31 後期 1/22	札幌市 オンライン
虐待対応研修＜トラウマ入門編＞	6/3	札幌
虐待対応研修＜支援実践編＞	6/4～5	札幌
児相施設相互受入専門研修	①2/12～14 ②2/18～19	①札幌 ②旭川
その他		
チャボゼミ研修		オンライン
職員による子どもへの性加害を防ぐために知っておきたい真実	6/13	オンライン
メンタル不調による休職・服飾の流れと実務対応	10/22	オンライン
公認心理士実習指導者研修	12/7～8	オンライン
チャボナビ：小児性愛を防ぐ	12/11	オンライン
日本箱庭療法学会	12/15	オンライン
瀧井先生ワークショップ	12/17～18	バウムハウス
児童思春期看護について	1/10	オンライン
社会的養護における育ち育てを考える研究会	2/28	さいたま市

内部研修	時期	講師
研修報告会	①7/23 ②1/21 ③1/28	
小山教授 SV	年 6 回 ①5/24②7/24 ③9/27④11/27 ⑤1/24⑥3/19	小山教授

（６）修繕・整備

子どもの安全な生活を守るための住環境整備、また働きやすい職場環境整備等のために、必要に応じた対応策を講じた。今年度は、子どもたちの居住エリアである生活棟にエアコン設置を行い、子どもたちと働く職員にとっても過ごしやすい環境を作ることが出来た。竣工から 20 年近くとなるため、今後も施設の要修繕箇所を確認しながら計画的な修繕を行っていく必要がある。

①2024 年度修繕実績

修繕内容	時期	進捗状況
生活棟エアコン設置工事	7/22～23	258 万円（税抜）
消防設備更新等工事	3/12	537 万円（税抜）

②計画外

修繕内容	時期	進捗状況
薬注器交換	8/7	38 万円（税抜）
児童玄関白扉修繕	9/5～6	5.6 万円（税抜）
厨房機器修繕	11 月	33 万円（税抜）
パネルヒーター洗浄	2/6	15,000 円/1 箇所、計 2 台
濾過器部品交換	8 月	46 万円（税抜）

床暖用循環ポンプ	3 月	20 万円（税抜）
----------	-----	-----------

③中長期修繕・整備計画及び実績

修繕箇所	修繕内容	目標	備考
本体	外壁（塗替え）	長期	要計画
	男子児童用トイレ（排水）	中期	
体育館	屋根、外壁	長期	要計画
グラウンド	土	長期	
その他設備等	厨房機器設備	長期	
	ガスボイラー設備	中長期	
	電気設備	中短期	

（７）事業収支

別紙の決算報告書を参照

（８）その他の報告

①寄贈等について

5 月	2 日	S 氏	現金 10 万円
6 月	18 日	ヴィクトリア伊達店	水、お菓子
8 月	1 日	セブンイレブン	お菓子
	13 日	ヴィクトリア伊達店	お菓子、水
10 月	24 日	ヴィクトリア伊達店	水、お菓子
11 月	21 日	北紘建設	米 60kg
12 月	23 日	セイコーマート	Xmas ケーキ
		ヴィクトリア	水、お菓子

②理事長決裁による契約（物品購入等）

契約名（工事名）等	契約（発注）先	費用（税抜）
クリーンストッカー（外ゴミ箱）購入	有限会社かねや興業	158,910
濾過器保守点検・部品交換	ショウエイ北海道	860,000
自動車リース（トヨタ アクア、7 年）	トヨタレンタリース	月 31,000
薬注器	サガエ設備	380,000
事務用デスクトップパソコン	株式会社サードウェーブ	174,164
傷害総合保険	株式会社損害保険ジャパン	267,500
賠償責任保険	株式会社損害保険ジャパン	102,600
公用車シエンタ車検	札幌トヨタ自動車	165,000
公用車 VOXY 車検	札幌トヨタ自動車	150,000
床暖用循環ポンプ	サガエ設備	200,000
事業活動包括保険（火災保険）	東京海上日動火災保険	832,850
厨房機器修繕	タニコー	386,760

③補助金及び助成金について

- ・令和 6 年度の補助金等申請は 0 件であった。
- ・今年度も、道民歳末たすけあい運動の助成金 5 万円を頂き、クリスマス会で活用させて頂いている。

④職員の労災・事故等

今年度はなかった。

⑤令和 6 年度児童福祉施設に係る指導監査

12 月 13 日に実施。指導事項はなかった。